

令和6年度湯梨浜町全国学力・学習状況調査結果の概要

令和6年9月公表

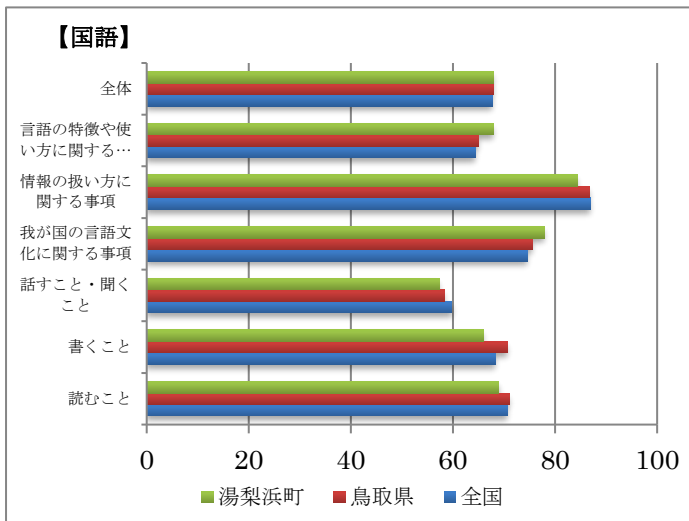
【小学校】教科に関する調査から ～国語・算数～

上段：平均正答率（％） 下段：平均正答数（問）

	湯梨浜町	鳥取県	全国
国語	68	68	67.7
全 14 問	9.5/14	9.5/14	9.5/14
算数	67	63	63.4
全 16 問	10.7/16	10.1/16	10.1/16

（県・町の数値は小数点を四捨五入した整数で公表）

○正答率が高い主な項目、●正答率が低い主な項目

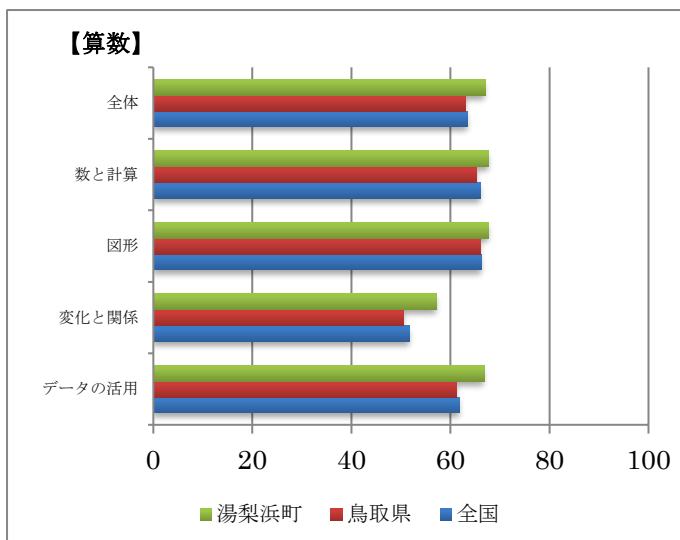


【国語】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県と同程度の結果でした。

○文や文章の中で漢字を正しく使うことなどの「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題ができていました。

●目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝えたいことを明確にすることなどの「書くこと」の分野に課題があります。



【算数】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県よりやや高い結果でした。

○速さの意味について理解しているかどうかをみる「変化と関係」の分野がよくできていました。

○表を読み取り、必要なデータを取り出して分類整理することができるかどうかをみる「データの活用」の分野がよくできていました。

全国平均正答率に比べ、±3%未満を同程度、±3%以上8%未満をやや上回る（やや下回る）、±8%以上を上回る（下回る）と表現しています。

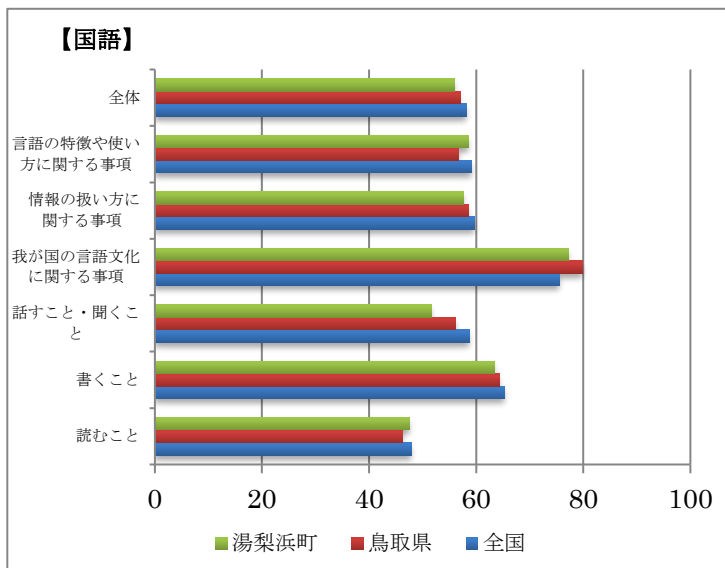
【中学校】教科に関する調査から ～国語・数学・英語～

上段：平均正答率（％） 下段：平均正答数（問）

	湯梨浜町	鳥取県	全国
国語	56	57	58.1
全 15 問	8.4/15	8.5/15	8.7/15
数学	52	50	52.5
全 16 問	8.3/16	8.0/16	8.4/16

（県・町の数値は小数点を四捨五入した整数で公表）

○正答率が高い主な項目、●正答率が低い主な項目

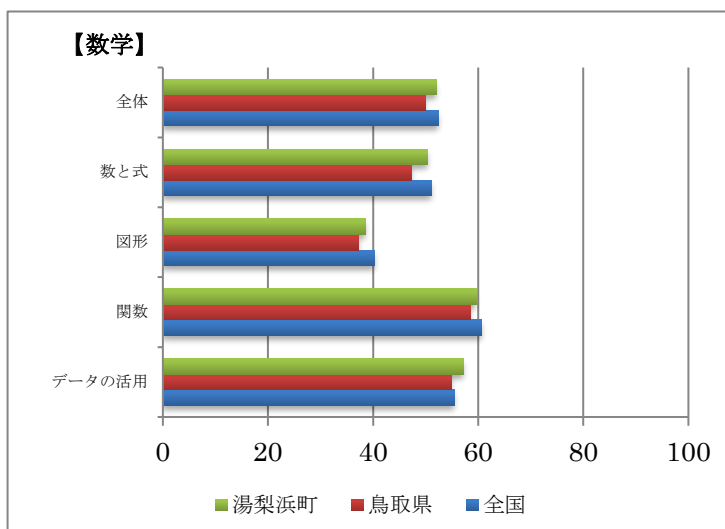


【国語】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県と同程度でした。

○文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する「読むこと」に関する問題がよくできていました。

●考えが分かりやすく伝わるように適切な資料を活用できるかどうかをみることなどの「話すこと・聞くこと」の分野において、課題がありました。



【数学】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県と同程度でした。

○データの傾向を読み取り、比較したり考察したりするなどの「データの活用」に関する問題ができていました。

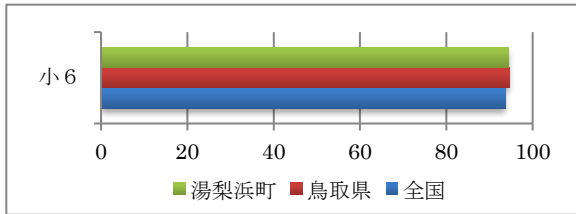
●目的に応じて式を変形したり読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明することや、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を説明することなどの「記述式」の問題において課題がありました。

全国平均正答率に比べ、±3%未満を同程度、±3%以上 8%未満をやや上回る（やや下回る）、±8%以上を上回る（下回る）と表現しています。

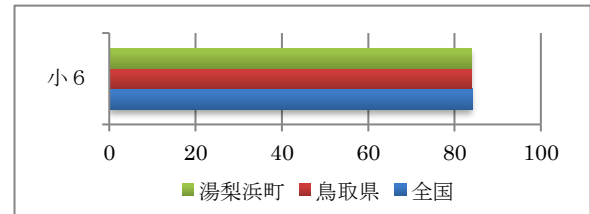
質問紙調査から ～学習習慣や生活習慣などに関する質問～

【小学校】

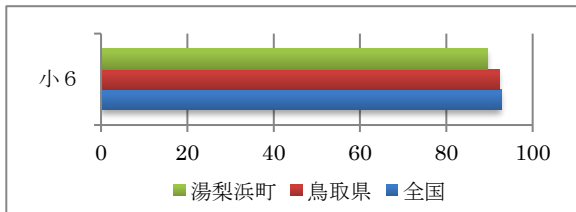
○朝食を毎日食べている



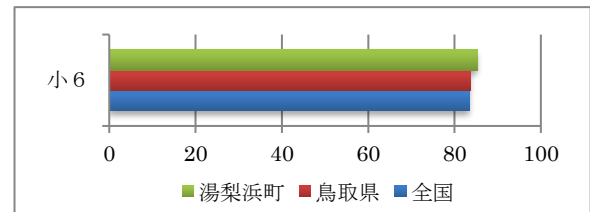
○自分には、良いところがあると思う



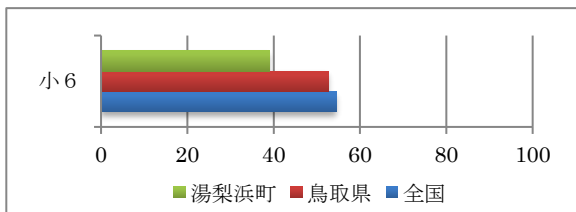
○人が困っているときは、進んで助けている



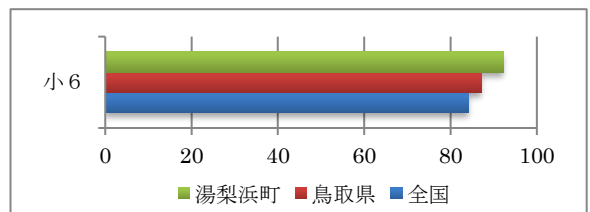
○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う



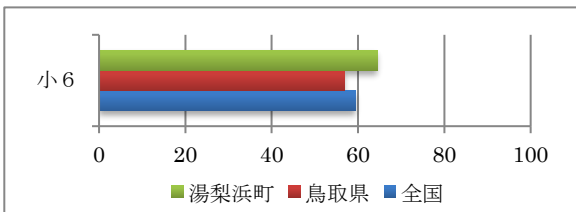
○学校の授業時間以外に、平日 1 日 1 時間以上勉強している（平日）



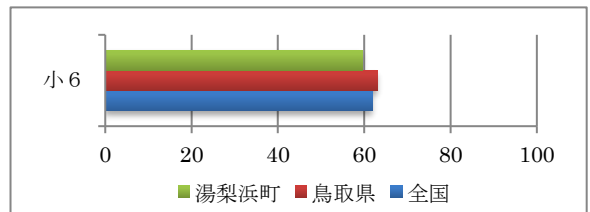
○学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている



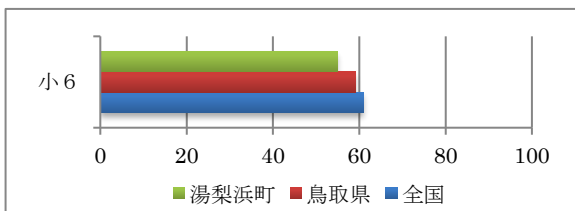
○授業でタブレットなどの I C T 機器を、週に 3 回以上使用した



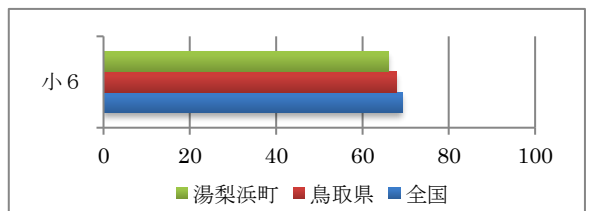
○国語の勉強が好き



○算数の勉強が好き

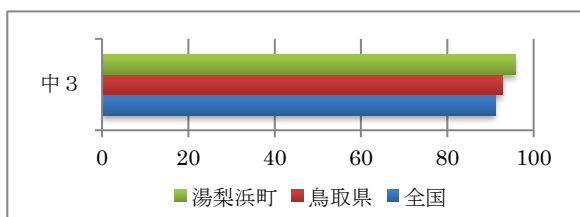


○英語の勉強が好き

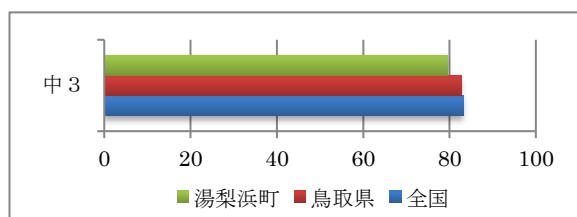


【中学校】

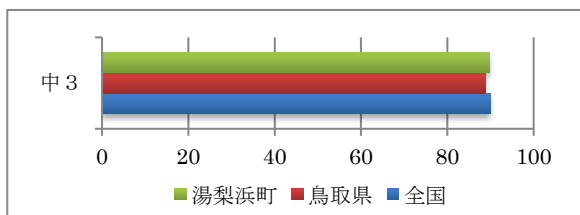
○朝食を毎日食べている



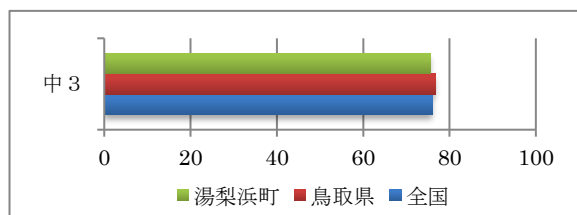
○自分には、良いところがあると思う



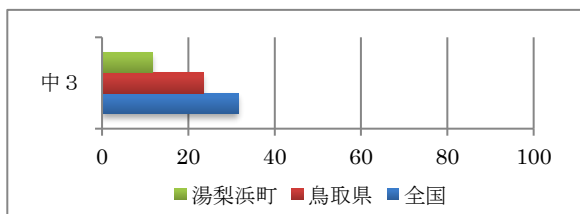
○人が困っているときは、進んで助けている



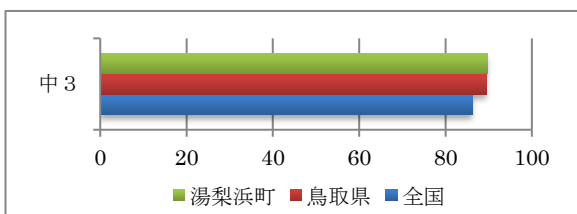
○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う



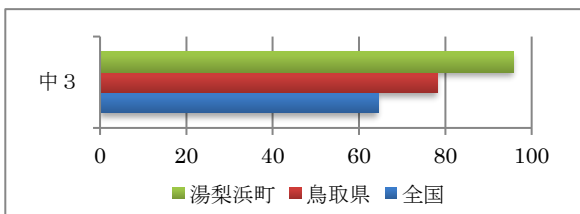
○学校の授業時間以外に、平日1日2時間以上勉強している



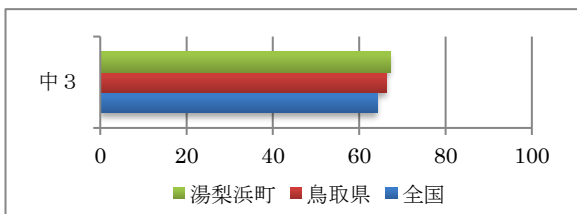
○学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている



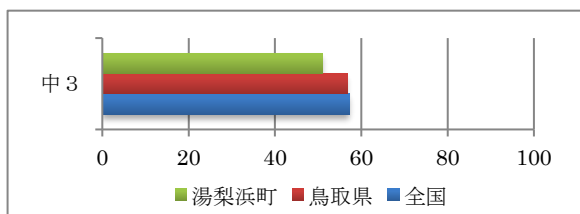
○授業でタブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した



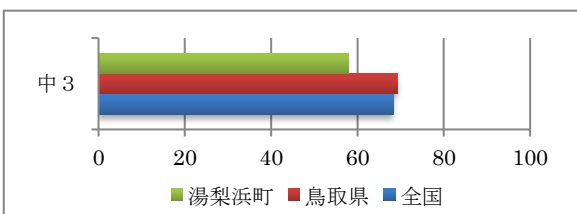
○国語の勉強が好き



○数学の勉強が好き



○理科の勉強が好き



【概要と今後の取組について】

学力調査は、今年度は小学校では国語、算数、中学校では、国語、数学が実施されました。湯梨浜町立小学校の結果は、全国平均と比較して国語は同程度、算数はやや高い結果でした。また、湯梨浜町立中学校は、国語、数学とも同程度の結果でした。

分野別の結果について、小学校国語では文や文章の中で漢字を正しく使うことなどの「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題ができていました。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝えたいことを明確にすることなどの「書くこと」に関する問題において、全国平均より低い結果でした。小学校算数では、速さの意味について理解しているかどうかをみる「変化と関係」の分野、表を読み取り、必要なデータを取り出して分類整理することができるかどうかをみる「データの活用」の分野がよくできていました。

中学校国語では、文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する「読むこと」に関する問題がよくできていました。考えが分かりやすく伝わるように適切な資料を活用することなどの「話すこと・聞くこと」の分野において全国平均より低い結果でした。中学校数学では、データの傾向を読み取り、比較したり考察したりするなどの「データの活用」に関する問題ができていました。目的に応じて式を変形したり読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明することや、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を説明することなどの「記述式」の問題において課題がありました。

全体として、本町の小中学校の児童生徒の回答は、小学校の国語・算数、中学校の国語・数学の全てにおいて、知識・技能に関する分野が全国平均を上回っており、着実に力をつけてきている現状が伺えます。特に小学校算数では、全ての領域において全国平均を上回るなど、本町で取り組んでいる授業改善に向けた日常的な教職員の授業参観、指導・助言の一定の効果が上がっていると考えられます。しかし、本調査から記述式の問題の正答率が低い傾向にあることから、一人一人の児童生徒が自分の考えをもって授業に臨み、互い考えを伝え合うなどの活動をさらに工夫していく必要があります。また、学習の基盤となる学級経営をさらに充実させ、学びの土台を引き続き安定させていくことも重要です。

このような状況を鑑み、町教育委員会では、現在、楽しい学校、分かる授業のより一層の推進に向けて「湯梨浜町指導力向上サポートプログラム」を引き続き実施していきます。学級経営や授業づくりに関する具体的な実践をもとにした研修をとおして、楽しい学校、分かる授業づくりのためのさらなる指導力の向上、全員参加型の授業展開に向けた授業改善を図っています。さらに、県教育委員会と連携しながら、各学校に出向いて授業を直接参観し、指導・助言等を行っていきます。

学習状況調査では、タブレットなどの ICT 機器の活用について、児童生徒が肯定的に回答した割合が高い質問が多くありました。授業において日常的に ICT 機器を活用している成果が表れています。学校の授業時間以外に学習する時間(小学校 1 時間以上、中学校 2 時間以上)については、小・中学校とも全国平均を大きく下回りました。家庭学習の時間の充実についても学力向上に向けた重要な要素であると考えており、町内の小中学校と連携して引き続き家庭教育の充実をめざして取り組んでいきます。